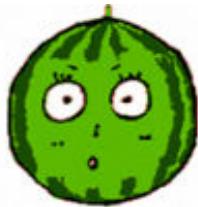


# 八色西瓜通信 No.1



## ～育苗管理のポイント～

令和7年4月14日  
八色西瓜生産組合指導部  
JAみなみ魚沼園芸畜産課  
南魚沼農業普及指導センター

### 【生育状況】

○天候の変化が激しい時期です。曇りでも朝からトンネル上部を薄く開けるなど、温度・湿度の変化を緩やかにしましょう。

### 育苗期の温度めやす（大玉）

**温度センサーを再度点検！**

生育ステージ	温床内の気温		地温		管理日数			
	日中	夜間	ユウガオ	すいか	ユウガオ	すいか		
発芽まで	28~30°C	28~30°C	26~28°C	28~30°C	3~5日	3~4日		
発芽後	25~28°C	18~20°C	22~23°C		7~10日	4~6日		
接ぎ木当日～3日目	26~28°C 湿度96~98%		25~27°C		7日			
接ぎ木4～6日目	25~28°C	23~24°C	25~26°C					
接ぎ木7日目	25~28°C	23~24°C	23~24°C					
接ぎ木8日目～活着	22~25°C	22~23°C	22~23°C		15~18日			
活着後	22~25°C	18~20°C	18~20°C					
定植前ならし	18°C~	16~18°C	16~18°C		3~5日			

※ 接ぎ木養生中の小玉品種は表よりも1~2°C高めに管理する

## 発芽時のトラブルと対策

トラブル	要 因	対 策
発芽不良、 発芽不揃い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過湿による酸素不足</li> <li>・温床の温度ムラ</li> <li>・かん水ムラ</li>   <li>・乾燥防止の被覆物が厚すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・は種2~3日前には床土にかん水</li> <li>・床土を均平にする</li> <li>・育苗箱を平らに置く</li> <li>・ユウガオ台木は5時間以上35°C以上にしない</li> <li>・新聞紙程度の厚みのものを使う</li> </ul>
皮かむり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床土の乾燥</li> <li>・温床温度が高すぎる(特に夜温)</li> <li>・覆土が浅い、軽い、鎮圧不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覆土と鎮圧を十分におこなう</li> <li>・高夜温にしない</li> <li>・温度センサーが正常か点検する</li> <li>・発生したら、早朝湿気があるうちに皮を除去</li> <li>・極端な皮かむりや皮を取り遅れ子葉が傷ついたものは、間引く</li> </ul>
子葉の白化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発芽時の低温、日照不足</li> <li>・発芽時の急激な温度変化(低・高) →低温の場合は芯止まりを誘発</li> <li>・接ぎ木後の白化は、高温の影響</li> <li>・亜硝酸ガス等の障害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被覆除去の時間帯や時期に注意</li> <li>・古いビニールは極力使用しない</li> <li>・発芽後は、地温を26°C以上にしない</li> <li>・未熟有機物を使用しない</li> <li>・床土pHを適正にする(6.0~6.5)</li> </ul>



## 気象変化が激しい時期、突然の晴れ間に注意

- ・ 4月は日射でハウス内温度が急激に変化
- ・ 曇天日は、突然の晴れ間にトンネル内気温が急上昇  
→換気遅れに注意！
- ・ ハウス内・トンネル内の気温が上がってしまった…  
→ ✗ 一気に換気するのは厳禁!!  
急激に湿度も下がり、しおれ・葉ヤケが発生
- ○ 少しずつ換気して徐々に温度を下げる  
※ 乾燥している場合は、換気前にハウス通路やトンネル内の床に軽く打ち水をして、湿度を上げるとしおれにくくなる  
(苗に直接かん水しなくても効果あり)



## 夜間や接ぎ木養生中の結露に注意

- ・地温よりもトンネル内気温が大幅に低いと、  
トンネル内で結露が発生
- ・水滴のボタ落ちが、病害やヨドレを誘発
- ・空中湿度が低下し、接ぎ木の活着率低下  
→地温とトンネル内気温の温度差を無くしましょう  
(保温資材の性能や枚数を再点検)



## 接ぎ木活着直後の生育で、癒着の状態をチェック

- ・一見正常でも、果実肥大になるとしおれや小玉化
- ・LED ライトの導入により、台木と穂木の癒着が  
不完全でも回復するようになった  
→接ぎ木活着後によく観察し、本葉の動きが極端に遅いものは定植を避けましょう



## 接ぎ木活着後は、タイミング良く「ずらし」を実施

- ・接ぎ木活着後は、葉の生育が急激に進む  
→本葉が重なり始めたら「ずらし」をおこないましょう
- ・「ずらし」は子づるの発生や揃いに影響する大事な作業、遅すぎても早すぎてもダメ

## 【お知らせ】

- ・配信を希望される方は  
右記 QR コードを読み取って、  
「JA みなみ魚沼営農部」を  
”友だち” に追加してください。  
※ 西瓜以外の情報（主に水稻）も配信されます。  
※ バックナンバーは JA みなみ魚沼のホームページにて閲覧  
できます。
- ・今まで通り書面での配布を希望される方は、  
園芸畜産課（大和）まで御連絡ください。



不明な点・指導が必要なときは下記担当まで御連絡ください。  
みなみ魚沼農業協同組合 園芸畜産課 関(和)・戸田 TEL: 777-3180  
南魚沼農業普及指導センター 野本 TEL: 772-3337